

内閣総理大臣 安倍晋三 様

東アジアの平和を求める署名

6・12米朝共同声明を支持し、朝鮮戦争終結・平和協定締結の実現を求める署名

2018年6月12日に開催された史上初の米朝首脳会談とそこで発表された米朝共同宣言は、冷戦と朝鮮半島での対決を終わらせ、平和の時代を切り開くものであり、私たちは世界中の人たちと共に歓迎しています。この米朝共同声明は、(1) 平和と繁栄の新しい米朝関係樹立、(2) 永続的かつ安定的な平和体制の構築、(3) 朝鮮半島の非核化、(4) 朝鮮戦争の遺骨・遺品の回収と送還を約束しました。

そして実際に朝鮮政府はミサイルエンジン実験場の閉鎖を約束し、ミサイル実験も核実験も2017年11月以来停止しています。米国政府は米韓合同軍事演習を中止しました。米軍兵士の遺骨・遺品の返還が実行されました。朝鮮戦争の終戦宣言・平和協定締結実現への動きを加速しています。東アジアの情勢は今、朝鮮半島の非核化、朝鮮半島南北・米朝間の平和的な関係構築へと大きく進みつつあります。

ところが、この平和の動きに逆らって、なおも戦争準備の動きが続いています。韓国では、朝鮮の核を口実に、星州(ソンジュ)のソソンリにTHAAD(高高度迎撃ミサイルシステム)が配備されています。日本の安倍内閣は「朝鮮の脅威」を口実に韓国のTHAAD基地と連動して在日米軍にXバンドレーダーを設置させています。沖縄県・辺野古の新基地建設を進め、南西諸島に自衛隊を増強・配備しています。史上最大の軍事費を計上し、軍拡を続けています。いつでもどこにでも海外派兵をするために憲法9条の改悪を執拗に狙っています。

その一方で、韓国ではTHAAD配備撤回反対運動が粘り強く続けられています。沖縄県では翁長知事が辺野古基地埋め立て承認の撤回を表明しました。

私たちは、米朝共同声明の内容を実行し、朝鮮半島の非核化と平和、東アジア平和地帯を実現していくために以下のことを安倍内閣に要求します。

- (1) 6・12米朝共同声明を支持すること
- (2) 朝鮮戦争終戦宣言、平和協定締結の実現に向けて働きかけること
- (3) 東アジアの平和に逆行する沖縄県辺野古への新基地建設、南西諸島への自衛隊配備を中止すること
- (4) 軍拡・改憲を進める安倍内閣は退陣すること

名 前	住 所

●呼びかけ団体: 平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO) <http://www.zenko-peace.com>

〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目6-21

TEL:090-8162-3004

署名返送の締め切り日 2018年12月15日着